

はじめに

甲府市は、甲府盆地の中央に位置し、南に世界文化遺産である富士山、北に八ヶ岳、西に南アルプス連峰を望む、豊かな自然に恵まれた美しいまちです。

歴史も古く、永正16（1519）年に武田信玄公の父信虎公が、つつじが崎の館を本拠地として城下町の建設に着手し、甲斐の府中「甲府」が誕生して以来、山梨県の政治・経済・文化の中心地として発展し、平成31年には開府500年を迎えることとなります。



こうした中であって、人口減少・少子高齢化の進行、自然災害の発生、地球環境問題の深刻化など、現在の本市を取り巻く環境も厳しさを増しておりますが、一方では、リニア中央新幹線の新駅設置や中部横断自動車道の整備など、本市の未来を大きく拓く好機を迎えようとしています。

こうした状況を踏まえ、平成37年度までの10年間のまちづくりの指針となる、新たな総合計画をこのたび策定し、将来のあるべき都市像を「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」と決めました。

この都市像は、甲府市の財産ともいえるべき「人」「まち」「自然」それぞれの素晴らしさが、より一層活かされ高められながら共生し、様々な課題を乗り越え明日への希望につながる明るい未来を創造していく都市を目指していきたいという強い思いを込めたものであります。

今後は、この計画を市民の皆様と共有するとともに、協働して各種施策に取り組むことにより、本市に住む人々、訪れる人々の全てが、幸福感や満足感を抱くことができるまちづくりに邁進してまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見やご提言をお寄せくださいました市民の皆様をはじめ、多大なご尽力を賜りました総合計画審議会委員並びに関係各位に心から感謝を申し上げます。

平成28年3月

甲府市長 樋口 雄一